



ナ・デックスレポート

第70期 中間報告書

2019年5月1日～2019年10月31日

証券コード：7435





ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社第70期第2四半期累計期間(2019年5月1日から2019年10月31日まで)の営業状況を報告し、今後の事業展開につきましてご説明させていただきます。ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 高田 寿之

第70期第2四半期累計期間(2019年5月1日から2019年10月31日まで)の概況

当上半期の世界経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、米中貿易摩擦や中国経済の減速などの影響が出始めており、当社グループの主要得意先である自動車関連企業においても設備投資について慎重な姿勢が見られるなど、先行きに不透明感が広がっています。

このような状況の中で、当社グループの上半期の連結業績については売上高151億7千7百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益5億6千万円(同36.3%減)、経常利益5億6千6百万円(同35.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億6千万円(同37.6%減)と減収減益

となり、セグメント別に見てもタイでは増収増益となったものの、日本・米国・中国では減収減益となりました。

▶▶ 連結業績につきましては、P5「連結財務ハイライト」をご参照願います。

当期の業績が厳しいものになることは期初より想定されており、この1年については成長投資を優先し、将来の飛躍に向けた布石を打つ年と位置付けています。当社グループは、持続的成長を実現するために長期経営ビジョンを掲げ、「事業領域の拡大」「マーケットの拡

大」に取り組んでおり、その成果は少しずつではありますが収益として表れだしています。

11月1日付けで株式会社タマリ工業の完全子会社化を実施したこともこの取組みの一環であり、同社との協業によるシナジー効果によって顧客への提供価値を向上させ、トータルソリューションを提供できる体制の構築を一層加速させることが可能と考えています。

これからも企業価値ならびに株式価値の向上に資する経営に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引続き格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶▶ タマリ工業の完全子会社化につきましては、P3「SPECIAL FEATURE」をご参照願います。

地域別業績

日本

売上高 119.7億円
営業利益 2.9億円

日本につきましては、自動車関連企業向けの販売は底堅く推移したものの、前年同四半期には非自動車関連企業向け生産設備の大型案件があったことなどにより、売上高は119億7千6百万円と前年同四半期に比べ18億9千2百万円(△13.6%)の減収となり、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、前期に実施した設備投資に伴う減価償却費の増加があったことなどにより、営業利益は2億9千6百万円と前年同四半期に比べ1億5千1百万円(△33.8%)の減益となりました。

米国

売上高 15.3億円
営業利益 1.2億円

米国につきましては、自動車関連企業向けの生産設備および自社製品の販売が減少したことなどにより、売上高は15億3千1百万円と前年同四半期に比べ9億1千9百万円(△37.5%)の減収となり、営業利益は1億2千5百万円と前年同四半期に比べ1億4千3百万円(△53.4%)の減益となりました。

中国

売上高 11.6億円
営業利益 0.0億円

中国につきましては、自動車関連向け自社製品の販売が減少したことなどにより、売上高は11億6千2百万円と前年同四半期に比べ3億6千5百万円(△23.9%)の減収となり、営業利益は5百万円と前年同四半期に比べ1億2千万円(△95.4%)の減益となりました。

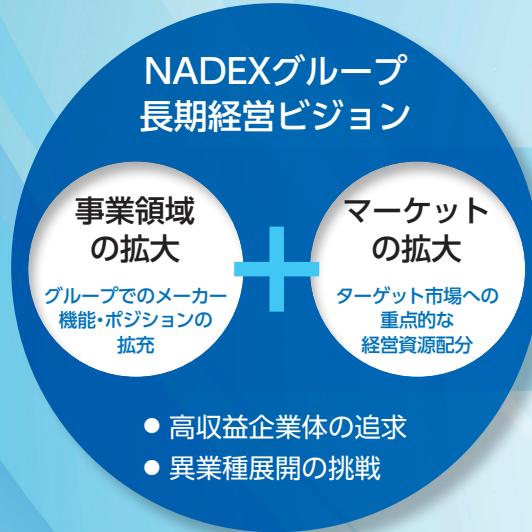
タイ

売上高 12.5億円
営業利益 1.1億円

タイにつきましては、前年に引続き自動車関連企業向け設備の据付を確保できたことなどにより、売上高は12億5千8百万円と前年同四半期に比べ7億6千9百万円(157.1%)の増収となり、営業利益は1億1千1百万円と前年同四半期に比べ7千7百万円(234.6%)の増益となりました。

製造業向け多事業構造を加速する、タマリ工業の完全子会社化について

当社は、11月1日付けで株式会社タマリ工業の全株式を取得し完全子会社といたしました。本特集では、その目的と今後の当社グループの方向性についてご説明申し上げます。



タマリ工業グループの子会社化

タマリ工業グループの概要

企業名	株式会社タマリ工業
所在地	愛知県西尾市米津町五郎田1番地1
事業内容	各種レーザー・機械の設計・製作、各種省力・搬送機器の設計・製作、各種製缶の設計・製作 他
資本金	10百万円
設立	1986年9月25日

グループ企業	企業名	株式会社シンテック
	所在地	新潟市北区島見町3399番地18
	事業内容	専用工作機、省人・省力自動機械、FMS関連機械、液晶関連装置の開発・製造
	資本金	77百万円
設立	1987年4月24日	

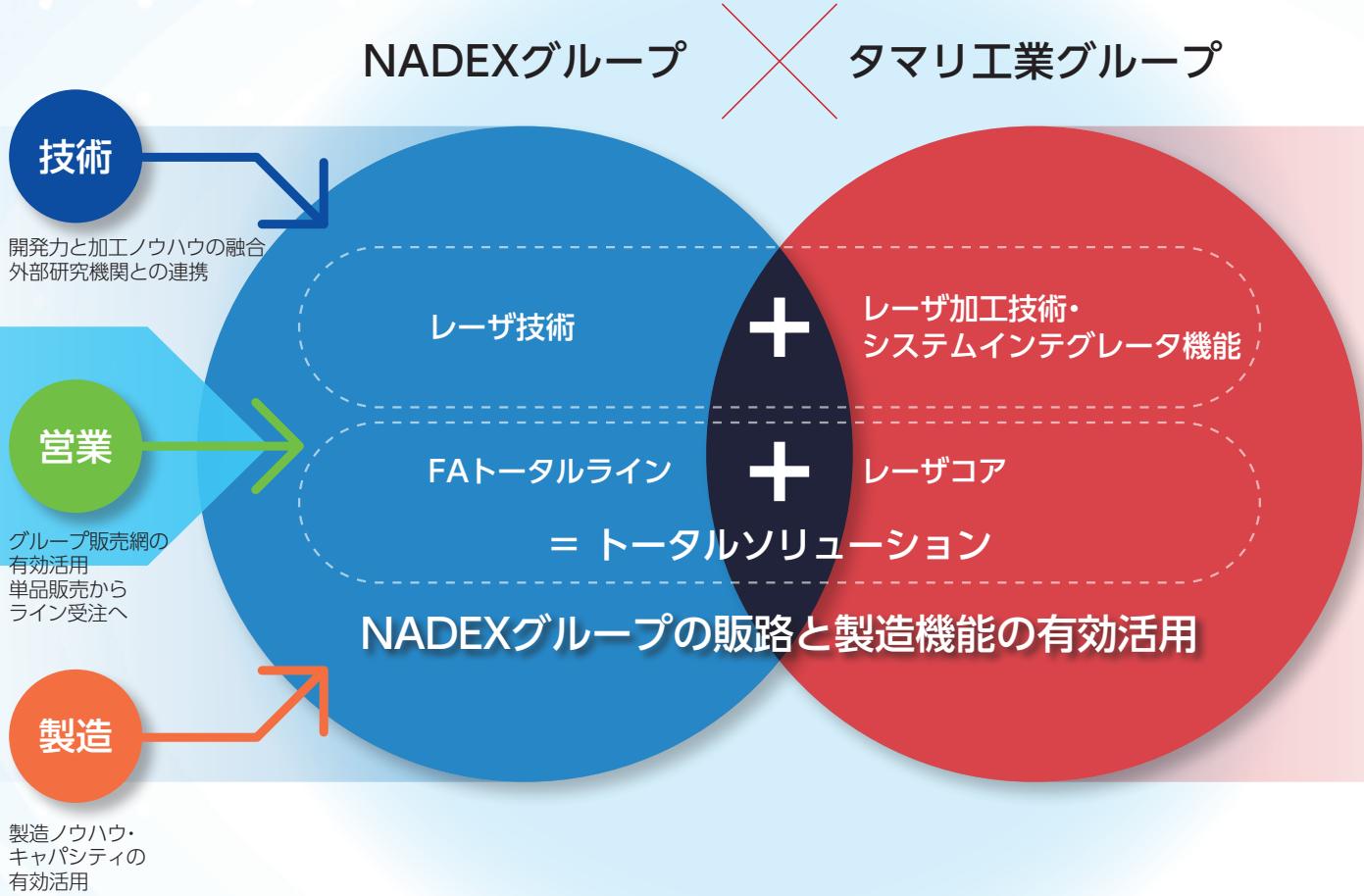
グループ企業	企業名	株式会社テクノシステム
	所在地	浜松市南区田尻町97番地の3
	事業内容	自動車制御装置の設計・製作、マイクロコンピュータ応用電気機器の設計・製作
	資本金	10百万円
設立	1990年6月29日	

当社グループは、長期的な経営ビジョンとして、「事業領域の拡大」「マーケットの拡大」を掲げております。事業領域の拡大に向けては、メーカー機能の拡充や、それに伴う市場認知度の向上を進めてまいりました。また、ターゲットとしている市場へ重点的に経営資源を投入することで、マーケットの拡大も図っております。当社グループは、上記施策を進めることで高い収益性を追求し企業価値を高めてまいります。

メーカー機能の拡充として、具体的にはITソリューション事業やエンジニアリング機能の強化のほか、**レーザー事業**

強化を進めております。

タマリ工業グループは、**レーザーに関する高い技術力やレーザーシステムインテグレート機能を有しております**。今回、同社グループを当社の完全子会社とすることで、これらの機能を当社グループに取込むことを通じて、レーザーソリューションの提案力・製造力をこれまで以上に充実させるとともに、**FAシステム事業と連携することで受注量の拡大**に繋がられるなど、当社グループとの大きなシナジー効果を見込むことができます。



今後、当社グループが保有する営業・製造・技術の各機能との有機的な連携を推し進めるとともに、5事業体制（FAシステム事業、エレクトロニクス・コンポーネント事業、タイマー事業、レーザー事業、ITソリューション事業）と

いう総合力を発揮することで、レーザー事業におけるソリューション提案力を向上させ、お客さまのニーズに**トータルソリューションでお応えできるグループ体制の構築**を一層加速させてまいります。

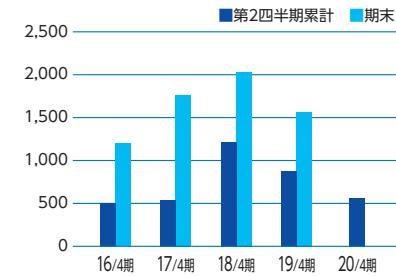
売上高

(単位：百万円)



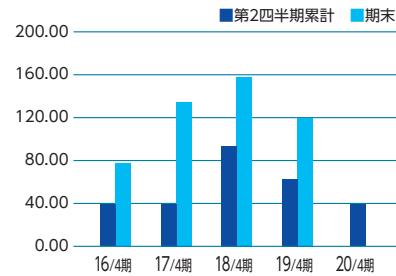
営業利益

(単位：百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：円)



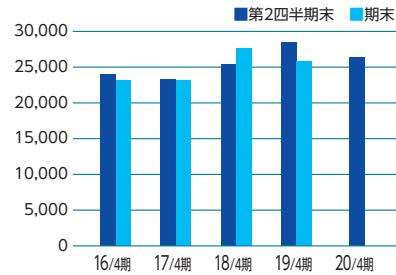
純資産

(単位：百万円)



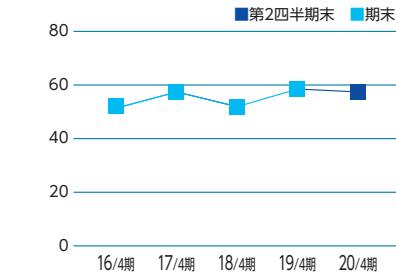
総資産

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)

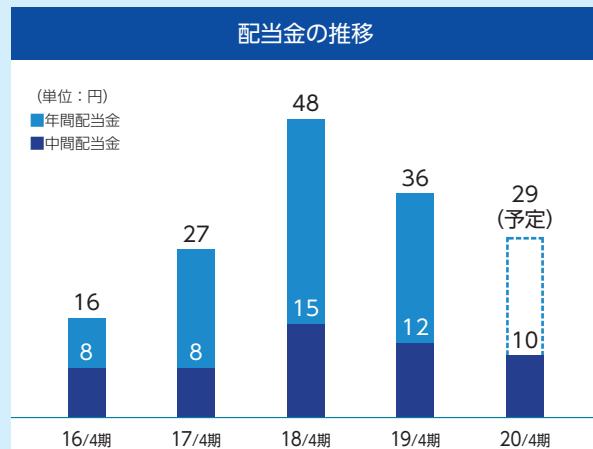


株主還元方針に関する考え方

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要な課題のひとつと考えており、1株当たり配当金の年10円を堅持しつつ、連結配当性向を30%以上としております。

当事業年度の配当金につきましては、上記基本方針をふまえ、1株につき29円(うち中間配当10円)の配当とする予定であります。

配当金の推移



会社概要

商号 株式会社ナ・デックス
(英文名/NADEX CO., LTD.)
本店所在地 名古屋市中区古渡町9番27号
TEL (052) 323-2211
設立 1950年10月
資本金 1,028,078千円
従業員数 579名(連結)、219名(単体)

役員

代表取締役社長 高田 寿之
専務取締役 渡邊 修
常務取締役 古川 雅隆
取締役 横地 克典
取締役 進藤 大資
取締役 本田 信之
取締役 野口 葉子
常任監査役(常勤) 武田 吉保
監査役 市原 裕也
監査役 仙田 正典

(注1) 取締役野口葉子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
(注2) 監査役市原裕也氏および仙田正典氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

拠点

国内 株式会社ナ・デックス(名古屋市中区)
技術センター(愛知県北名古屋市)
株式会社ナ・デックスプロダクツ(岐阜県可児市)
ナ・デックスレーザR&Dセンター(福井県敦賀市)
株式会社タマリ工業(愛知県西尾市)
イシコテック株式会社(兵庫県尼崎市)
株式会社シンテック(新潟市北区)
株式会社テクノシステム(浜松市南区)

海外 NADEX OF AMERICA CORP. (米国 デラウェア州)
WELDING TECHNOLOGY CORP. (米国 ミシガン州)
NADEX MEXICANA, S.A. de C.V. (メキシコ ケレタロ)
那電久寿機器(上海)有限公司(中国 上海市)
NADEX ENGINEERING CO.,LTD. (タイ バンコク)
NADEX (THAILAND) CO.,LTD. (タイ バンコク)
PT. NADESCO INDONESIA (インドネシア チカラン)
PT. NADESCO ENGINEERING INDONESIA (インドネシア チカラン)

株式の状況

発行可能株式総数 40,125,000株
発行済株式の総数 9,605,800株
(自己株式348,571株を含む)
株主数 1,592名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アート・ギャラリー富士見	1,400,000	15.12
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	786,500	8.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	322,900	3.48
古川 美智子	285,600	3.08
株式会社光通信	248,700	2.68
古川 佳明	222,000	2.39
古川 雅隆	216,791	2.34
ナ・デックス社員持株会	211,600	2.28
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	159,700	1.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	159,000	1.71

(注) 持株比率は、自己株式(348,571株)を除く発行済株式総数に対する持株数の割合であります。



ナ・デックス 本社

ナ・デックス 技術センター

ナ・デックス プロダクツ



WELDING TECHNOLOGY CORP.

那電久寿機器(上海)有限公司

NADEX ENGINEERING CO.,LTD.